

Gikai

Kamifurano

第124号

2024年10月25日

発行

かみふらのの 議会だより

定例会・臨時会 P.2～4

在宅福祉サービス利用料金値上げに「チョット待った」👉
補助金を活用した住宅リフォーム進むなど

議員定数・議員報酬調査特別委員会 P.5

あなたの声が聴きたい!!
議会懇談会・アンケートのご案内

一般質問 P.6～

「泥流地帯映画化」今後の展望は？
農業人口を増やすために何が必要か？など

今号の表紙写真

商工会青年部環境整備事業での

北栄公園（タコ公園）のペンキ塗りの様子

いっぱい遊んでね

ピカピカの滑り台

補正予算

定額減税に対する補正、障害者自立支援費に関わる補正、農地に係る補正、国民健康保険や介護保険に係る補正予算が提出されました。



議会 Pickup

GIGA スクール構想タブレット更新に伴う補正

補正額 408 万 1 千円

町内小中学校4校について、通信速度の測定や、ネットワーク網、各通信機器の状況等の調査や、教員の校務DX化を円滑に行うことを目的として実施します。

社会教育総合センター天井改修工事に伴う補正

補正額 286 万円



社会教育総合センターにおける避難所施設としての安全性を図るため、斜め天井や、照明制御システム更新の設計を行います。

ジェットコースターの路の課題解決に伴う補正

補正額 200 万円

町道西11線道路（かみふらの八景：ジェットコースターの路）は波状丘陵が織りなす雄大な景観で多くの観光客が訪れる人気観光スポットである一方、路上駐車や道路での写真撮影、農地への立ち入りなど多くの課題を抱えています。

そのため、観光庁の補助金を活用し、駐車場確保などを含めた整備を検討するにあたっての混雑状況や、観光客の属性を把握し分析を行います。



繁忙期に混雑するジェットコースターの路

定例会・臨時会の概要

第2回臨時会が7月24日、9月定例会が9月11日から12日までの2日間の会期で開かれました。

定例会では、一般質問を11名の議員が行い、22項目にわたって議論が交わされました。議会からは議員派遣の報告、2件の意見書が提出されました。補正予算も審議され原案のとおり可決されましたが、提案された条例のうち1件については厚生文教常任委員会に付託されました。また、教育委員会委員を任命する議案が提出され、同意されました。

人事

教育委員会委員

教育委員会委員を任命する議案が提出され、同意することになりました。



はやし のりやす

林 憲億さん

任期 令和6年10月1日から
令和10年9月30日まで

条例

在宅福祉事業に関する条例の一部を改正する条例を付託

- 在宅福祉事業に係る利用料の改定について -

物価や人件費の高騰に伴い必要経費が増加していることから、在宅福祉事業の利用料見直しの議案が提出されましたが、利用者の生活もひっ迫し年金受給者の利用が多いことから、さらに慎重審議が必要であると判断し、今回の改定に関して所管委員会である厚生文教常任委員会に付託されました。

主な改正案の内容

- 配食サービス 主食及び副食(1食あたり)
現在：450円 → 改正案：550円
- 移送サービス 町内片道
現在：250円 → 改正案：350円
- 除雪サービス 15分あたり
現在：75円 → 改正案：200円

議員からの質疑

北條議員 上げなくてはならないのは分かるが、個人の負担も厳しい。いきなりこの金額に上げない配慮はなかったのか？

保健福祉課長 いきなり上げたという考えではなく10数年間上げてこなかった。経過を見てきての判断。

小林議員 近隣の自治体ではどのような金額で行われているか。

保健福祉課長 在宅福祉サービスは町の独自サービスである。配食は他でも行っているが上富良野町は低い方である。

付託の流れ…

町長から提案された議案は、本会議での質疑が終了し、さらに詳しく審査するため、議案は厚生文教常任委員会へ付託されました。この付託とは、議案の審査の場所を本会議から常任委員会に移すことを意味します。

常任委員会で審査が終わると採決が行われ、当該常任委員会としての議案に対する態度（原案可決、原案否決、修正可決）が決定します。

ここで決定した厚生文教常任委員会での審査結果は審査結果報告書として議長に提出され、再び本会議の議題となり、賛成・反対それぞれの立場から討論（意見表明）を交互に行った後、採決が行われ、可決、否決、修正可決のいずれかに決定します。



議会広報特別委員会

町民に読まれる広報誌づくりへ！

講演「読者に読まれる議会報の企画と編集」

講師（一社）自治体広報公聴研究所

代表理事 広報アドバイザー 金井 茂樹氏

研修内容

8月20日、北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が札幌市で開催され、議会広報特別委員6名が参加しました。議会の活動内容をよりわかりやすく町民に伝えることを目的に、企画・編集の重要性を学びました。

研修を終えて

見出しの工夫や表現方法など、今のものに手を加える必要性を感じました。「情報提供」「透明性の確保」「住民参加の促進」といった広報誌の役割を十分に果たせるよう努めていきたいと思えます。



研修会の様子

意見書を国に提出しました

新型コロナウイルス感染症に対する経済的な負担軽減を求める意見書

昨年の5類移行後も行われてきた抗ウイルス薬や入院費の自己負担を軽減するなどの支援制度が今年3月末で終了した。抗ウイルス薬は高額なことから自己負担を理由に避けられることが懸念されている。新型コロナウイルス感染症の流行による医療逼迫や医療崩壊を防ぎ、必要な医療を提供し、命と健康を守るために新たな公費助成を創設するよう強く要望する。

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

本道の道路を取り巻く環境は、高規格道路におけるミッシングリンクをはじめ、自然災害に伴う交通障害、幹線道路や通学路における交通事故、道路施設の老朽化など、多くの課題を抱えている。これらの課題を解消し地域が持つ潜在力を最大限発揮させるために、平常時・災害時を問わない安定した物流や、広域周遊観光を支える道路ネットワークが必要不可欠である。高規格道路から市町村道にいたる道路網の整備や老朽化対策など国土強靱化の取り組みをより一層推進するよう強く要望する。

臨時会

特別体験によるインバウンド消費拡大・質向上推進事業

全て国の財源を活用して 4,500 万円

夏はラベンダーを中心とした素晴らしい景観とグルメで多くの観光客を楽しませている我が町ですが、閑散期となる冬の観光も盛り上げるために、サンピラーなどの自然現象やスノーシューなどの体験を観光の商品として、外国人観光客の中でも特に台湾などアジアからの来訪客に販売することが可能かを調査、検証します。



富良野広域連合議会

第2回定例会

令和6年第2回富良野広域連合議会定例会が10月8日（火）に開催され、議案7件（補正予算案1件、条例改正1件、人事案3件、財産の取得1件、認定1件）が原案どおり可決・認定され、任期満了に伴う教育委員会教育長には近内栄一氏（富良野市教育委員会教育長）、教育委員会委員には鈴木真弓氏（上富良野町教育委員会教育長）、鈴木誠氏（南富良野町教育委員会教育長）が再任されました。

住宅改修費助成事業

北海道の補助金を一部活用して 650 万円

リフォーム、省エネルギー改修及び設備導入、空き家除却、耐震改修に対する助成金が、今年の5月末、年度当初予算額に到達したため、65件分（助成平均10万円/件）の予算を補正しました。

議会懇談会開催のお知らせ

議会の活動を広く知ってもらい、町民の皆様から意見をいただくため、議会懇談会を開催します。

どなたでも参加できますので、ぜひお気軽にお越しください。

テーマ

「議員定数と報酬について」「これからのまちづくり」

時間・場所

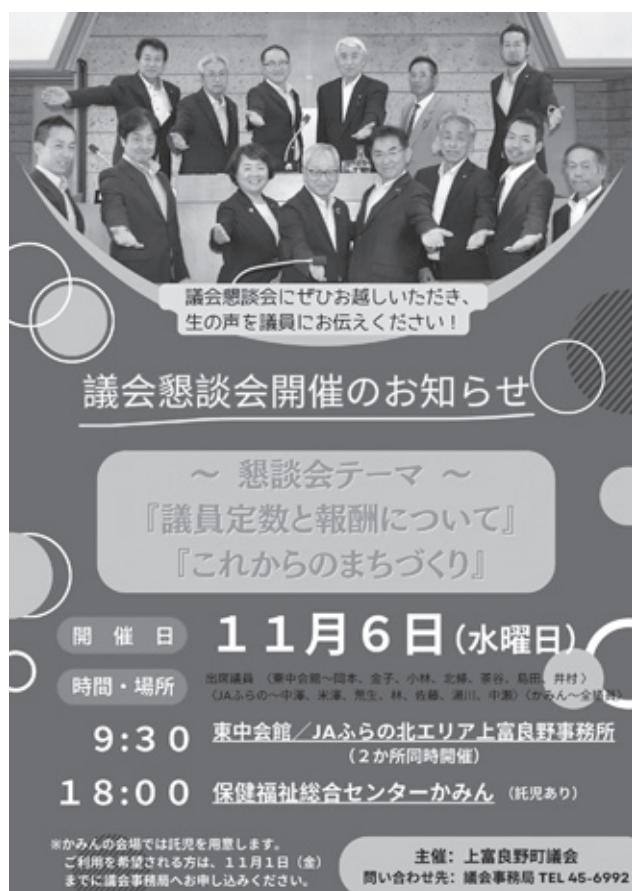
9時30分～ 東中会館・JAふらの北エリア上富良野事務所
3階大研修室（2か所同時開催）
18時00分～ 保健福祉総合センターかみん 多目的ホール
※託児あり

※かみんの会場では託児を用意します。ご利用を希望される方は、11月1日（金）までに議会事務局へお申し込みください。

お問い合わせ

上富良野町議会事務局

☎45-6999-2



議会懇談会にぜひお越しいただき、生の声を議員にお伝えください！

議会懇談会開催のお知らせ

～ 懇談会テーマ ～
『議員定数と報酬について』
『これからのまちづくり』

開催日 11月6日（水曜日）

時間・場所 出席議員（東中会館～岡本、金子、小林、北條、澤谷、島田、井村）
（JAふらの～中澤、宋澤、荒生、林、佐藤、瀧川、中野）
9:30 東中会館/JAふらの北エリア上富良野事務所（2か所同時開催）
18:00 保健福祉総合センターかみん（託児あり）

※かみんの会場では託児を用意します。
ご利用を希望される方は、11月1日（金）までに議会事務局へお申し込みください。

主催：上富良野町議会
問い合わせ先：議会事務局 TEL 45-6992

議会に関するアンケートのお願い

現在、上富良野町議会では議員の適正な人数と報酬について検討を行っています。そして、この協議を行うにあたって町民の皆様からの意見等もお聞かせいただきたいと考えていることから、アンケートを実施します。

議会に対する意見や、定数・報酬に関する率直なご意見をお待ちしています。

配布方法

アンケート用紙は町広報誌10月10日号に差し込まれています。また、町内9か所の町民ポストに備え付けてあります。

回答方法

・アンケート用紙を町民ポストへ投函
・二次元コード
・FAX
・役場へ持参

●町民ポスト設置箇所

町立病院・JR上富良野駅・郵便局・コミュニティプラザ中茶屋・JAふらの北エリア上富良野事務所

回答期限

11月15日（金）まで



議会に関するアンケートのお願い
議員の人数と報酬について
あなたの声を聞かせてください

現在、上富良野町議会では、議員の適正な人数と報酬についての検討を行っています。皆様のご意見もお聞かせいただきたくアンケートにぜひご協力ください。

質問1.現在の議員定数（14名）についてどう思いますか？
■ 増えすぎ ■ 多い ■ 少ない ■ 分からない
（参考）1986年に26名～20名、2002年に20名～18名
2006年に18名～14名（現在の議員定数）

質問2.上記の質問に回答した理由に近い項目にチェックを付けてください。
（複数回答可）
■ 人口が減少している ■ 財政面を考慮して
■ 立派な議員が少ない ■ 幅広い住民意見が反映されなくなる
■ 多様な人材確保が必要 ■ 議員の質に疑問を感じる
■ 議員の報酬に疑問を感じる ■ 議員の活動が分からない
■ 議員の任期が長い ■ 議員の活動が分からない
■ その他（自由記述）

（裏面に続く）

こちらの二次元コードからも
回答できます



お問い合わせ

上富良野町議会事務局

☎45-6999-2 FAX 45-5362-2

上富良野のここが聞きたい!!

町民の思いを届ける 60 分



 北條 隆男 議員 ① 社会教育総合センター維持・管理について ② 島津球場の整備について	 林 敬永 議員 ① 子育て支援のための給食費の無償化について ② 観光振興対策について
 米澤 義英 議員 ① 地域こども食堂について ② 新型コロナウイルス感染に対する費用負担の軽減について ③ 自動運転バスの導入について ④ 被災自治体での応援職員受け入れについて ⑤ 護国神社の参拝について ⑥ 町独自の奨学金制度について	 湯川 千悦子 議員 ① 道の駅の構想について ② 泥流地帯映画化の今後の展望について
 佐藤 大輔 議員 ① 地域活性化起業人の活用について ② 地域おこし協力隊について	 金子 益三 議員 ① 地方創生人材支援制度活用による副町長複数制について ② 上富良野町犯罪被害者支援条例（仮）の制定について
 茶谷 朋弘 議員 ① 猟友会への対応について	 島田 政志 議員 ① 町政執行方針に示された「活力と交流あふれる産業のまち」の取組について
 荒生 博一 議員 ① 泥流地帯映画化プロジェクトについて	 井村 悦丈 議員 ① 農業振興施策について
 ・一般質問とは、年4回の定例会において議員が住民の声や自身の考えなどにより、町政全般にわたって執行者の考えをたずねるもの。	 中瀬 実 議員 ① 町道の維持管理計画について ② 第3次観光振興計画の具現化について

※一般質問のページは質問議員本人により編集されています。

議会を傍聴してみませんか？

9月定例会の傍聴者は 11 人

次の定例会の開会予定は…

12月11日（水）12日（木）です

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

子育て

子育て支援のための給食費無償化を

町長－学校給食費は、教育委員会で検討されるもの

つぶやき...

物価上昇が止まらず、生活はさらに厳しくなっている。安心して暮らしていけるためにも行政には支援を期待したい。



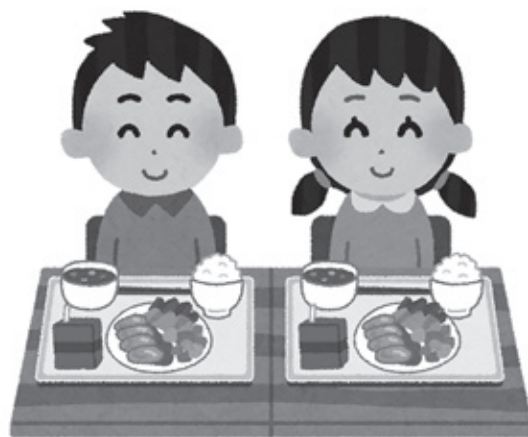
林 敬永 議員

林議員

小中学校の給食

費無償化の実態調査結果が公表され、全国の自治体3割が令和5年度時点で無償化しており、無償化の目的が「保護者の負担軽減や子育て支援」、「少子化対策」とした自治体が多かった。認定こども園や保育所等の利用においても、給食費等は実費負担となっているが、長引く物価高騰により、経済的不安になっている私たちの生活の中で、保護者の経済的負担の軽減と子育て世代を支援するためにも、いま子どもたちに関わる給食費の無償化を実施すべき時期に入っていると考えるが。

和元年10月から保育料が一部無償化となり子育て世帯の負担は軽減されている。また、町独自策として、町民税合算額7万7千100円までの世帯に免除を行っているほか、主給食の実費分についても令和2年4月から、認定こども園へ通う3歳から5歳の子どものいる世帯で町民税所得割額非課税世帯を対象に助成している。今後は子ども計画策定の中で検討していく。なお、学校給食費については、教育委員会の職務権限とされているので、教育委員会において検討される。



冬の観光振興対策

林議員

7月24日の臨時

議会に提案された、かみふらの十勝岳観光協会への委託費4千500万円について、その事業決定は自らが定めた政策調整会議や課長会議に諮ることもなく決められ、一般財源が伴わないからの副町長の回答は、町の仕事を決める手続きの危うさに今後の町政運営に不安がつるばかり。多額の費用をかけて事業を実施することで町内へのメリットや令和7年度以降、どのような形で町の観光振興に寄与される事業なのか。

ンピラーなどの自然現象やスノーシューなどの体験型の活動に関して、大きな魅力があることは認識できているがそれを観光コンテンツとして確立するまでに至っていない。本事業を通じて中長期的な経済効果測定を行い、今後の観光戦略に活かしていく予定であるが、自然現象を組み込んだ冬季の観光コンテンツ開発や閑散期向け情報発信基盤を整備することで、宿泊業、飲食業、小売業など、閑散期の収益が落ち込みやすい産業への経済効果と、交流人口増加による町の活性化を目指している。

ひとくちメモ

学校における給食費用の取り扱い、学校給食法により、調理施設の維持管理費や光熱水費、人件費などは町が負担し、食材の購入費用は保護者が負担するよう定められています。

斉藤町長 町内へのメリットは、冬季にあってサ

道の駅

道の駅構想の進捗状況は

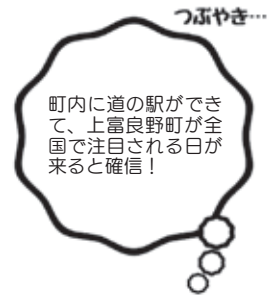
町長－関係機関との協議は行っていない、設置場所は検討する

齊藤町長 まずは道の駅建設に向けて町民と一緒に

湯川議員 道の駅の構想には運営等に大きく関わる町の産業分野との関わりが必要不可欠と思われるが。

齊藤町長 今年度は道の駅に関する情報収集を主にしている状況にある。関係機関との協議は行っていない。

湯川議員 旭川十勝道路が計画段階評価に格上げされた。ルートが確定し開通までには数年の年月を費やすが、開通を待つてからの着手では町の観光振興に影響があると考える。1日も早く作ることを望まれるが、各関係機関との話し合いは進んでいるか。



草分防災センター

に盛り上げていくことが重要で、次に関係団体と調整していかなければならないと認識している。

湯川議員 草分防災センターを改築して、観光と防災の拠点としても使えるので選定しては。

齊藤町長 非常に立地がいい所とは認識している。町民の機運醸成から始ま



湯川 千悦子 議員

り、町民の合意を得て決定していく。

湯川議員 自衛隊の町でもあるので、自衛隊をアピールする展示や温泉まではできなくてもサウナの設定などでしょうか。

齊藤町長 上富良野に来なければ手に入らないものは凄く重要な考えと

泥流地帯映画化の今後の展開は

湯川議員 映画製作は、

我が町2度の開拓を風化させず、三浦綾子文学を広く永く深めていくためにも1日も早い公開が望まれる。現在に至るまで制作費の金銭的な課題もあり進行していない。その問題を解決するため、企業版ふるさと納税の金額に加えて、新たに町が有する「十勝岳と共生するまちづくり応援基金」から一部支消し一定程度の映画製作に関わる資金を担保することで映画製作の加速が期待できるがいかがか。

齊藤町長 これまでの経緯を踏まえ、資金の担保が最終的な課題となつて



旭川十勝道路は、旭川市を起点とし、富良野市を経由して占冠村に至る延長約120kmの高規格道路です。このうち富良野北道路及び富良野道路は、高速ネットワークの拡充による上川圏と十勝圏の連絡機能強化を図り、地域間交流の活性化及び物流効率化等を支援する事業です。



映画化の実現で上富良野町の魅力を発信

組織

副町長の複数制を行わないのか

町長－複数体制は有効と考える

つぶやき...

と、算う
機、予
持、の
の、良
国、得
を、な
多、る
く、な
繁、る
上、る

金子議員 地方創成人材制度を活用し現在1人体制で行っている副町長を2人体制にして、事務方のトップとしての副町長と、様々な国の機関とのパイプ役として政策立案等に携わる施策トップの副町長の2人体制で行政を運営する考えはないか。

斉藤町長 地方は急速な少子高齢化と過疎化が進行する中、ニーズや変化地域課題に柔軟に対応し、安全で快適な生活空間形成を進めるため、政策立案や組織マネジメントを推進し、持続可能なまちづくりを進めることが非常に重要であることから、副町長の2人体制は非常に有効であると考えている。

金子議員 導入には地方創生人材派遣制度を初めに活用をしないか。

斉藤町長 近隣の市町村での実例もあり、財政的措置もされ、国とのパイプ役も十分期待でき今後検討する上で参考になると思う。

金子議員 東川町のよう



内閣府が行う地方創生制度



金子 益三 議員

なプロパー職員として2人体制が、地方創成人材派遣制度の活用 of どちらの考えか。

斉藤町長 副町長を東川スタイルで、職員を国の制度で平行、同時にできるといことも理論的にイメージしている。

上富良野町犯罪被害者支援条例(仮)の制定をしないか

金子議員 犯罪被害者に対する様々な支援を行うための上富良野町犯罪被害者支援条例(仮)、を制定する考えがないか。

斉藤町長 令和3年3月に閣議決定された第4次犯罪被害者等基本計画で、地方公共団体における総合的かつ計画的な犯罪被害者等の支援の促進のため、条例の制定の検討などが進められている。富良野管内を所管する旭川方面富良野警察署でも、富良野沿線での条例制定に向け、協力や助言をはじめ、検討会や勉強会を行っているっており、本町を含めたら市町村でも、来年4月の施行に向け、条例制

定の準備を行っている。
金子議員 どの程度まで踏み込んだ特化条例になって、どこまでを範疇と考えているのか。

斉藤町長 町しか出来ないことがあるので十分網羅してら市町村連携してなるべく近いものをつくらうと考え、国の保障制度を勘案し、どの程度がいいのか今後協議していく。

金子議員 犯罪被害者給付制度が、非常に複雑なため一時的な立替えが必要と考える。

斉藤町長 国からの給付金、賠償金が入ってきたら返してもらって一時立替え制度は検討する。

金子議員 交通事故による被害者支援は。

斉藤町長 まだそこまでは至っていない。

ひとくちメモ

地方創生人材支援制度とは、地方創生に積極的に取り組む市町村に対し、意欲と能力のある国家公務員、大学研究者、民間専門人材を市町村長の補佐役として派遣する制度。

農業

活力と交流あふれる産業のまちは

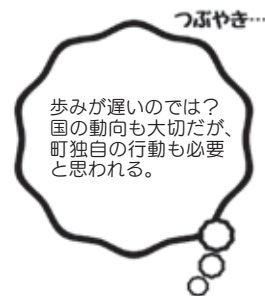
町長－9つの施策から各種事業を進めるところ

島田議員 農業の収益性向上の大きな課題としてDX活用の取り組み支援が期待されている。コスト低減に向け更に推進すべきと考えるが。

斉藤町長 高効率の農業機械・施設・設備の導入や高度の機械化による高品質化・安定化による商品価値の底上げを図り、収益・所得の向上に結びつける必要がある。

島田議員 農業DXの活用事例として、水田の水門管理・施設栽培の温度管理・スマートフォンによる生育管理等があるが、町として、助成金・補助金はあるか。

農業振興課長 現在、情報収集している。国の補助制度等活用できるか、



スマートフォンを活用した生育管理

研究・検討している。

島田議員 食料自給率は、現状38%と非常に少ない、これに対して農業支援を行うべきと考えるが。

斉藤町長 食料の安定供給の確保に向け、北海道や各生産団体と協働し、地域の意見を反映させるよう要望活動を進めなければならない。

島田議員 「耕作放棄地を防止」とうたっているが使われていない土地、これを新規就農者や、地域おこし協力隊に有効活用はできないか。

斉藤町長 耕作放棄地になりつつあるような土地については、新規就農者



島田 政志 議員

を含め耕作地を維持しなければならぬ。

島田議員 有害鳥獣対策の強化に関して、狩猟免許の取得費用の助成、新規就農者講習会の実施とあるが、いつ、補助金はいくらか。

斉藤町長 時期は12月と3月を予定。狩猟免許及び銃砲所持に関する申請・登録手数料、講習受講料、狩猟税等に係る経費として8万円を上限に助成。罾猟については、1万円を上限に助成している。

島田議員 地域ブランド開発への取り組みに関して、町民・企業にどのような活動をし、提案があり、行動してるか。

斉藤町長 農業分野において、昨年初めて酒米の栽培がなされ、本年、上富良野オリジナルの日本酒が販売された。まるごとかみふらのプレミアムビール、ワイン等、地域の特色を生かした商品開発を行っている。

島田議員 上富良野はホップ・青シソが有名かもしれないが、これらは特定企業への販売、一般市民には知名度が無い。例えば和寒と言えば南瓜、富良野と言えば玉ねぎメロン、さらに当麻と言えばでんすけスイカ、町ぐるみで特産物を考えているが、上富良野としていかがか。

斉藤町長 ラベンダー等もある我が町にもPRすべきものというのは数多くある。



農業DXとは…農業に最先端のデジタル技術を活用して農業の生産性や効率を向上させる仕組み。

農業

農家を減らさないための施策は

町長－策定中の農業農村実践プランで決定する

つぶやき...

いま農業は、ビジネスとして価値を見いだしたり、個々のライフスタイルを大切にすることが増えています。



井村 悦丈 議員

井村議員 新規就農者より高齢でやめる農家が多い中、農業就業人口を増やすことが上富良野町の基幹産業である農業を衰退させない、農家を減らさないための施策が重要と考える。令和6年3月に策定された第6次上富良野町総合計画（後期基本計画）には、「活力と交流あふれる産業のまち」に関する主要施策として、農業・農村を担う人材の育成がうたわれている。担い手の増加、定住に向けた就農支援策とあるが、北海道では増加傾向にある企業などが関連している町内農地所有適格法人の数は。

斉藤町長 本町の農地所有適格法人数は42事業者、うち9事業者が農業以外の企業など関連している農地所有適格法人である。過去5年間で10件増加、うち企業など関連するものは5件と2倍に増加している。今後も農業人口増加のため、企業の新規集めるためにどのような



第6次総合計画書（後期基本計画）

方策を取っているか、地域おこし協力隊の方々もおられる中、町の就農支援で移住を誘致するため、上富良野の魅力をもどすように発信しているのか。

井村議員 女性や高齢者が能力を発揮できるよう、経営の参画や就農環境の向上に向けた啓発・情報提供を行うとあるが。

井村議員 農業後継者の育成・確保を図る上で、町独自の支援事業の推進、新たな支援事業の検討・推進とは。

斉藤町長 女性農業者と高齢農業者の活躍の機会を広げるための施策として、農業経営への参加から経営管理能力や技術力向上を図る。女性や高齢者が能力を発揮できるよう、経営の参画や就農環境の向上に向けた啓発・情報提供を行うとあるが。

ひとくちメモ

家族経営協定とは…農業経営に関わる家族の構成員が話し合い締結する協定であり、経営を法人化する際には、就業環境や労働条件、経営計画など家族経営協定で定めた内容をそのまま活かせる。

道路
管理

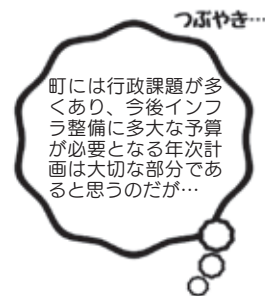
オーバーレイを実施する基準は

町長－ひび割れ、舗装のへこみを総合的に判断

で判断している。最終的な判断は町長である私が予算編成の中で当然限られた予算の中で判断している。

中瀬議員 凸凹やフラックが出ているところのオーバーレイをするためそれらを判断、評価、それは結果的に誰が判断するのか。

斉藤町長 町道の多くは建設から40年50年が経過し、舗装面の損傷が進んでいる状況にある。原因としては経年劣化、大型車の通行、路面下の埋設物の施行における舗装切断・復旧に伴うもの、凍上が起因するものがあり、オーバーレイを実施する基準は主にひび割れ、わだち掘れ、へこみ等を総合的に評価し判断している。最終的な判断は町長である私が予算編成の中で当然限られた予算の中で判断している。



経年劣化の見られる町道

中瀬議員 基本的にはある程度の年次計画を持ちながら改修していかなければならない。優先順位の13路線は何年度までという基本的考えはあるか。

斉藤町長 距離も長く財源もかかるということだ。

具体的な年度まで入った計画を作れたらいいがそれまでできないのが現状で、少ない限られた予算の中で路線を維持していく。大まかな優先順位に従って限られた中で対応する。



中瀬 実 議員

中瀬議員 基本的には駐車場が駐車帯をしっかりと整備しなかったら解決できない。駐車場を造るとなると地権者に土地を譲ってもらえるか、交渉面会をしたことはあるのか。

斉藤町長 地権者の意向というのは計画に影響を及ぼすが、地権者とは私

中瀬議員 基本的には駐車場が駐車帯をしっかりと整備しなかったら解決できない。駐車場を造るとなると地権者に土地を譲ってもらえるか、交渉面会をしたことはあるのか。

斉藤町長 地権者の意向というのは計画に影響を及ぼすが、地権者とは私

ジェットコースターの路の課題解決は

中瀬議員 町長が考えているのは駐車場を造りたいと思っているのか。駐車帯を造りたいと思っているのか。

は特に接触していない。計画としてはまず駐車場ありきの話でもなく、路肩・路側帯でも構わないので、混雑状況を解消したいというそういう計画を持って危険・混雑を解消したい。

ひとくちメモ

オーバーレイとは：すり減った舗装の表面を削り、その上に新しい舗装を5～10cmの厚さで敷く道路舗装工事で、通常の工法より短期でコストが安くできる修繕工法。



ジェットコースターの路の混雑解消は

施設
管理

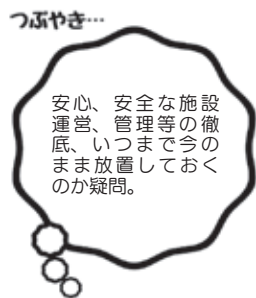
社教センターの今後の改修計画は

教育長－令和7年度に向けて検討していく

北條議員 アリーナ天井裏の結露などの問題に対し、今後の改修計画は。

鈴木教育長 令和3年3月に破損箇所を確認、修繕対応を行い目視による安全確認を行いながら、現在も利用していただいている。しかし、アリーナ部分はスポーツ利用はもとより、災害時には重要な避難施設としての用途もあり、既存施設の特例により適合義務が無いとはいえ、安全基準に合致していないことから、早急な改修が必要との認識をもっている。令和7年度工事に向けて検討してまいりたい。

北條議員 武道館内部天井の雨漏り箇所の張り替え等の修繕は。



改修が必要な天井の雨漏りの跡



北條 隆男 議員

鈴木教育長

屋根防水は、金属部分に錆や腐食による漏水等を抑制するため、実施計画により令和7年度に改修工事を計画しており、内部天井については現在天井仕上材の変色を4力所確認している。

屋根防水部分からの影響も考えられることから、防水部分の改修工事に合わせて張り替え等必要な修繕を実施してまいりたいと考えている。

島津球場の整備について

北條議員 内野整備と外野の雑草の除去など施設管理はどのように行っていくのか。

鈴木教育長 内野整備と外野の雑草除去等の施設管理に関しては随時、職員が現地を確認し、必要に応じて施設管理業務の受託者に指示し、除去等の作業を実施、内野の整備に関しては、雑草除去や不陸部分の補修等の維持管理は適宜行っているが、降雨によるぬかるみ跡や土が固くなっている等利用者が求める設備には至っていない面もあり、利用団体の意見を伺い、快適に利用が図られる施設として適切な維持管理

に努めてまいりたいと考えている。

北條議員 ホームランイン用のネットの常設置は出来ないのか。

鈴木教育長 既存のネットは平成31年度にソフトボール協会からの要望に基づき設置したものである。しかし、設置から5年経過により、ボールの強度や破損等、ホームランラインとして必要な機能が果たされるよう対応したいと考えている。



雑草の生えた球場の外野

ひとくち
メモ

令和5年度利用実績
社教センターアリーナ
武道館
島津球場
昭和62年設置
平成6年設置
昭和51年設置
4万33人
6千858人
880人

子ども
居場所

こどもの居場所や地域食堂の実施を

町長－こども食堂・学習支援の検討をしたい

米澤議員

NPO法人の

アンケートでは、ひとり親世帯などで夏休みに学校給食がなくなり、こどもの3人に1人が1日2食になっているとの回答がある。町においても親が仕事など家庭にいないときは、子どもだけで食事をしている状況がある。また、夏休みや冬休み期間に給食を提供してくれる場所や居場所があればとの声もある。

政府は、地域の子どもの支援体制強化を目的とした「地域のこども支援強化事業」を予算化し実施している。町においても今後、実施する必要があると考える。町の対応について伺う。

齊藤町長

子どもの居場所

つぶやき…

学費が高いのは、政府が国立大学への運営費交付金や私学助成などが減らされてきたからです。入学金の負担ゼロ、学費の半額が必要です。



こどもの居場所、保護者の困りごと等の相談に取り組む福祉事業所「うたり」

所に関しては、児童館や放課後スクール、放課後デイサービスなど、家庭の事情により選択可能な居場所について設置しているが、こども食堂の支援については行っていない。

町内で当該目的となる事業について活動いただいている団体と協議し、地域こども支援強化事業等の国や道の支援策を研究し、こども食堂や学習支援の実施に対し支援を検討している。



米澤 義英 議員

学ばずともたちを支援する奨学金制度を

米澤議員

高すぎる学費が、学生や保護者に変な負担を求めている現状がある。学生は高い学費の下、アルバイトに追われ、また、生活に困窮し、将来の奨学金の返済に不安を抱いている。

国の将来を支える子どもたちが安心して学べる環境を整えるのが、国や自治体の役割だと考える。町独自の奨学金制度を設けるべきでは。

鈴木教育長

義務教育課程を卒業後、高等学校へ進学し、専門学校、短期大学、大学へと、将来の夢に向かって専門的な学びへと進路を求め進学をしている。学びを継続す

ひとくちメモ

地域こども支援強化事業とは…複合的な困難を抱える子どもたちに対し、既存の福祉施設等や地域にある場所を活用して、食事や学習の場など提供し、こどもに対する地域支援をする事業です。



独立法人・日本学生支援機構の修学支援制度説明資料

るには、学費の負担が生じるため、公的な修学資金の貸し付けや給付金制度を利用していることは認識している。国では、授業料等減免や給付型奨学金のほか、来年度から始まる大学無償化制度で入学金の無償化など、経済的負担を軽減する制度に期待をしている。他の自治体では、独自の奨学金制度構築しているところもあるが、教育委員会として、新たな施策は持ち合わせてはいない。

町長一他の移住者とのバランスをとりたい

し、協力するに体な
と活用するに体な
策として、定住ポ
対おこなうサポ
住地域の制度な
定地域の制度な
住地域の制度な
移住の隊の向制
の隊の向制の

サポート体制

農業支援員として活動する協力隊

むことで町が元気になる
ので、協力隊の制度は移
住定住対策の柱と捉えて
いる。協力隊とのコミュ
ニケーションはしっかり
と図っていきたい。



佐藤 大輔 議員

ひとくち

地域おこし協力隊とは：都市部から地方に移住して、地域おこし支援や住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住を図る取り組みで、任期は概ね1年以上3年以内です。

鳥獣
対策

これからの猟友会に対する対応は

町長－協議を重ね体制の整備、充実を進めていく

とても良いと考えられるが、
報交換や近郊市町村の状況等を考慮しながら、常に検討していかなければ

茶谷議員

ヒグマの市街

地出没や獣による被害は増していく中、猟友会と連携した捕獲等に関する取組がますます重要になっていくが今現在の猟友会への報酬は妥当か。

茶谷議員

ヒグマは危険

性に加え解体の際に人員を要する。またアライグマの数が近年大幅に増加しており、報酬額を上げて

茶谷議員

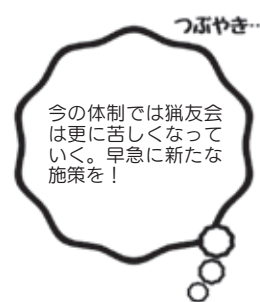
ヒグマは危険

報酬額については増額を実施したところであり、ヒグマに関しては近隣の市町村と比較して妥当であると考えている。

茶谷議員

ヒグマの市街

地出没や獣による被害は増していく中、猟友会と連携した捕獲等に関する取組がますます重要になっていくが今現在の猟友会への報酬は妥当か。



今の体制では猟友会
は更に苦しくなっ
ていく。早急に新たな
施策を！



年々増加する鳥獣

ならないと考えている。
茶谷議員 在籍している
会員の中で実質稼働して
いる人員は一部であるこ
とに加え会員の高齢化が
進んでおり今後における
猟友会の人員不足が懸念
されるが。

茶谷議員

在籍している

会員の中で実質稼働して
いる人員は一部であるこ
とに加え会員の高齢化が
進んでおり今後における
猟友会の人員不足が懸念
されるが。



茶谷 朋弘 議員

町から依頼している有害
者の募集案内のほか、免
許取得補助の見直し等、
広報による狩猟免許取得
者の募集案内のほか、免
許取得補助の見直し等、
町から依頼している有害

茶谷議員

会員の高齢化

や機動力不足に対する課
題について、危機感を共
有し、懸念を抱いている。
広報による狩猟免許取得
者の募集案内のほか、免
許取得補助の見直し等、
町から依頼している有害



報酬や猟友会への対応に不満を持ち奈井江町では猟友会が町への協力を辞退。全国的に猟友会への対応について見直しが始まっている。

茶谷議員 駆除の際、解
練を含めたヒグマ対策連
絡会議を随時開催してい
くことを目標に、準備を
進めている。

茶谷議員

駆除の際、解

練を含めたヒグマ対策連
絡会議を随時開催してい
くことを目標に、準備を
進めている。

茶谷議員

駆除の際、解

鳥獣捕獲に支障がないよ
う、会員の増加、及び運
営等の体制づくりに対し、
支援、協力を進めていき
たい。

体や日報の作成、マー
キング、役場への報告
等、作業がとて多く効
率化を求める声が出てい
る。また、他市町村では
ドローンやAIカメラ
等の導入で会員の負担軽
減を図っているが考えは
異なる。

茶谷議員

体や日報の作成、マー

ドローンやAIカメラ
等の導入で会員の負担軽
減を図っているが考えは
異なる。

茶谷議員

体や日報の作成、マー

視力メラを導入し、その
活用方法と効果について
確認している。引き続き
必要に応じて追加の配備
を検討していく予定。処
理等作業等が多く大変
であることは聞いてお
り、様々な機器の導入や
ICTの活用を含めて
負担軽減となるよう、他
町での活用事例など情報
収集を行いながら、研究
検討をしていきたい。

映画化

事業継続、もしくは中止の判断のめどは

町長—しかるべきときに、しかるべき判断をする

つぶやき...

泥流地帯映画化は、十勝岳噴火100年の節目となる2026年の公開を目標としているが、まだスポンサー企業は決定していない。



荒生 博一 議員

荒生議員

これまでの間に支出した泥流地帯映画化プロジェクトの事業費総額について伺う。

斉藤町長

令和5年度末現在において、映画化を進める会による機運醸成活動に507万7千円、CG映像制作や映画企画制作にかかる費用1千990万円を合わせて2千497万7千円となっている。

荒生議員

コロナ禍以前は、ニュースレターなどで情報発信をしていたと記憶しているが、現在の進捗について定期的に情報発信を行っているのか伺う。

斉藤町長

これまで進捗をお知らせできていなかった点を真摯に受け止めて、令和5年に映画企画に着

手した内容については、既にお知らせをした。

荒生議員 昨年5月以降

これまでの間映画化を進める会とどのように連携を図ってきたのか伺う。

斉藤町長

町内外での映画化機運の醸成と維持の



上映を待ち侘びているのぼり

ため、記念グッズの企画・制作・配布等による

PR活動や、三浦綾子記念文学館との連携事業に

おける積極的な協力など、多岐にわたる連携を図っている。また、映画企画制作においては郷土史に

関する情報提供や資料収集など、必要に応じて協力をいただいている。

荒生議員

このまま制作実行委員会が立ち上がらないとすれば、いつをめぐりに事業継続、もしくは中止の判断をするのか。

斉藤町長

現状、交渉ごとにつき逐一つまびらかに公表することは叶わないが、製作実行委員会の立ち上げに向け、製作幹事となる事業者の選定と折衝を進めているところである。町として映画化実現に向け交渉に臨んでおり現段階で具体的な期限を設けて中止判断を明言することはできない。

しかし、それが無期限に引き延ばされるものではないことは承知している

ところであり、然るべき時に然るべき判断をさせていただきます。

荒生議員

町民の皆様にもう一度是非を問うていただきたい。然るべき判断の材料の一つとして、我々議会からの声だけではなく、是非町民の皆様

斉藤町長

今後についても理事者である私に決定権があるが、映画化を進める会のメンバーの皆様や、それ以外の町民の方そして寄付をいただいた方もそうであり、それらの方の意見を無視したり意向を全く毀損したりすることはなく責任を持つて今後も進めていきたい。

ひとくちメモ

平成30年1月19日に「泥流地帯映画化を進める会」が設立され、この9月で7年8ヶ月が経過する。昨年5月以降は企画書を作成し企業訪問を続けている。

議会の窓



8月6日	厚生文教常任委員会
7日	総務産建常任委員会
20日	議会広報研修会
22日	議会運営委員会
9月2日	厚生文教常任委員会
3日	厚生文教常任委員会
4日	総務産建常任委員会
5日	議会運営委員会
11日	全員協議会、議会広報特別委員会
12日	第3回定例会（1日目）
17日	第3回定例会（2日目）
24日	議会広報特別委員会
25日	全員協議会
26日	議員定数・議員報酬
10月1日	調査特別委員会（第3回）
8日	決算特別委員会（1日目）
11日	決算特別委員会（2日目）
15日	決算特別委員会（3日目）
16日	町内行政調査、厚生文教常任委員会
22日	議会広報特別委員会
22日	議会運営委員会、全員協議会
22日	調査特別委員会（第4回）
22日	議会広報特別委員会
22日	総務産建常任委員会
22日	議会運営委員会
22日	上川管内町村議会議員研修会

◆町内行政調査

10月1日に町内8か所の行政調査を行い、令和6年度予算で進められている事業の進捗と、完了後の状況を視察しました。

◆富良野沿線市町村議会議員研修会

10月4日に富良野沿線市町村議会議員研修会を受講しました。接遇とマナー講師である松本裕子氏からハラスメントについての講義を受け、その後、新富良野プリンスホテルに会場を移し、意見交換会を行いました。

◆茨城県大洗町視察来町

10月10日に、茨城県大洗町議会広報委員会の6名が視察を受け、議長並びに所管の正副委員長が、かみふらの議会だよりの変遷と今の取り組みについて説明し、その後、意見交換会を行いました。



編集後記

議員になり1年が経過しました。この間、議会、研修、勉強会等を通して様々なことを学び経験していく中で1番感じたことは、議会や議員のことに関して知らないことが多かったことです。町民の皆さんの中にも「議員って何してるの?」「議会って何やってるの?」と思ってる方も多くいるのではないのでしょうか。この度、議員定数・報酬に関して検討する運びになりましたが、ただ単純に増やす・減らすだけでなく議会のことをより多くの町民に知ってもらい、関心をもち参加できる議会を目指していくことが今後の上富良野町の発展には大切なのではないかと個人的に考えています。また、そのための1つの手段が議会広報であることから1人でも多くの町民に手に取ってもらい、読んでもらえるような議会だより作りの工夫が必要だと感じながら今回の編集作業に当たらせていただきました。ぜひ一読ください。

(茶谷 記)

議会広報特別委員会

委員長	佐藤 大輔
副委員長	井村 悦丈
委員	湯川 千悦子
	林 敬 永
	茶谷 朋 弘
	島田 政 志